

カンボジア旅行の前に。。。。

## カンボジアビザ

入国するためには、観光ビザ/ビジネスビザが必要です。  
日本国内のカンボジア大使館等にて取得もしくは、カンボジアの空港（プノンペン、シェムリアップ）でも取得可能です。陸路でタイやベトナム、ラオスから入国する場合は、国境のイミグレーションで取得可能です。  
写真1枚（場合によっては2枚）とビザ代が必要。  
パスポートの残存期間は6ヶ月以上必要です。  
オンライン申請も可能です。  
<http://www.mfaic.gov.kh/e-visa/vindex.aspx?lng=Jap>

## 両替

日本円⇄アメリカドル⇄カンボジアリエル⇄日本円が可能です。  
ホテルでも換金可能ですが、街中の両替所より若干レートが悪いかも知れません。  
\$1や\$5の細かいアメリカドルがあると便利です。1ドル以下のお釣りはリエルで返ってきますので、リエルに換金しなくても大丈夫と思います。リエルはカンボジア国外では換金できないので、使い切ってしまうか、次回のためにとっておいてください。  
クレジットカードのVISAやマスターなどを利用できる場所は多いですが、手数料が3%~4%程度かかります。トラベラーズチェックが使えるお店はあまりないです。

## その他

最低限、パスポート、ビザ、お金があれば大丈夫ですが、  
時期によって、夜間早朝の気温と日中の気温に差があるので、服装は羽織るものなどで調節できるようにされるとよいでしょう。  
肌の露出の多い服装（タンクトップやひざ上の短パンなど）はあまりお勧めいたしません。  
（王宮観光の際は入場できない場合がございますのでご注意ください。）  
ジーンズは洗うのが大変ですし、日中、干しておけば乾くだろうと思っても絞りが甘いと1日では乾ききらない場合があります。  
4月、5月頃はもっとも暑い時期で、1月頃は朝晩少し冷えます。  
また、熱射病などの予防のために水分補給を心がけていただきたいので、ペットボトルでミネラルウォーターが売っておりますが、お好みでポカリスエットの粉末とかお茶の粉末があるといいかもしれません。  
日焼け止め、サングラス、虫除け、虫刺されの薬などや、ウェットティッシュ、帽子などがあると便利です。。プールがあるホテルでは、水着もあるとよいでしょう。リーズナブルな料金で充実した設備のホテルのプール、スパなども利用できますよ。

日本食のレストランも数件あるので、現地の食事が合わない人もわざわざ日本食を持ってこなくても大丈夫です。他にも中華やイタリアン、フレンチなど。バリエーションはそろっているのでは、心配ないです。  
ちょっとおしゃれなレストランもあるので、カジュアルすぎる服装以外も1枚くらいはあってもいいかもしれませんね。

プノンペン・シェムリアップは英語を話せる人が多いですし、レストランのメニューも英語になっているところが多いです。街中の看板には日本語もよく見かけます。でも、基本はクメール語なのでトラブルにならないよう気をつけましょう。買い物など値切りすぎるのも考え物です。  
ガソリン代は日本とそれほど変わりません。タイや中国などからの輸入に頼っているのでは、日本と比べれば安いですが、思ったほどにはあまり物価も安くない印象です。  
現地の人と比べると外国人料金で請求されると思いますが、交渉はほどほどに。。

かなり治安はよくなったと思いますが、それでも外国なので、夜間や日中でも単独で行動するときはあらゆるトラブルを想定して責任ある行動を心がけてください。  
外見が明らかに外国人の人はいたるところから視線が集まっております。  
すりや引っかけは予期できませんが、かばんの持ち方など狙いにくい行動をとるようになさってください。  
それでもあってしまったときは日本大使館へ連絡しましょう。  
シェムリアップ・プノンペンともに信号が増えました。ヘルメットの着用や逆走違反の取り締まりもいたるところで行っておりますが、ルールを守らないドライバーさんはたくさんいます。  
信号や交通ルールだけを信じずに、自分の目で必ず確認して、交通事故にあわないように気をつけてください。

と、いろいろ申し上げましたが、特別なことをしなければ、心配しすぎも必要ないです。  
カンボジア人は日本語を勉強している人がたくさんいます。親日家が多い国だと思えます。  
比較的シャイで、いつもニコニコしています。

カンボジアへの旅はきっとよい思い出となるでしょう。  
皆様のお越しをスタッフ一同、こころよりお待ちしております。



KHJ ROYAL Co., Ltd.